

令和7年度

佐賀県小・中学校学習状況調査 及び 全国学力・学習状況調査

ー 調査結果 と 指導改善のポイント ー

中学校国語科

- 1 はじめに
- 2 調査結果の概要
- 3 成果が見られた設問
- 4 課題が見られた設問
- 5 指導改善のポイント
- 6 同一生徒の経年比較
- 7 おわりに

1 はじめに

佐賀県教育委員会では、児童生徒の学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、佐賀県小・中学校学習状況調査を行っています。

また、全国学力・学習状況調査の結果と一体的に分析することで、各学校における学力向上に向けた検証改善サイクルの確立につなげています。

令和7年度
学校における
学力向上の
検証改善サイクル

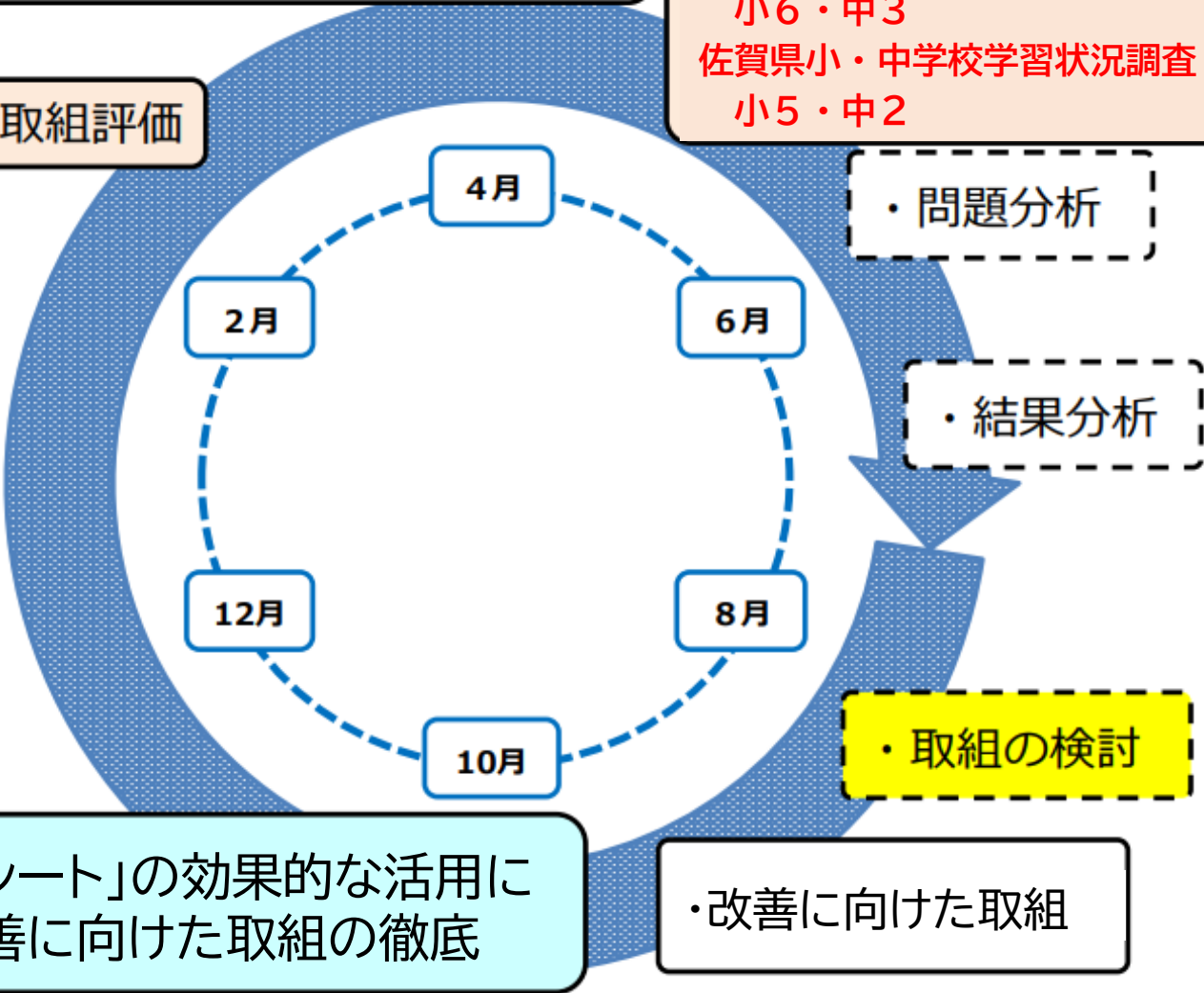
○1年間の大きな
サイクルの中で、
個々の取組に関
する小さな検証
改善を行う

検証改善サイクルを
確立・機能させるこ
とにより、児童生徒
の学力向上を図りま
しょう。

・課題解決に向けた取組の共通認識、
円滑な取組のスタート(評価シート)

【令和7年4月17日】
全国学力・学習状況調査
小6・中3
佐賀県小・中学校学習状況調査
小5・中2

取組評価



○「評価シート」の効果的な活用による改善に向けた取組の徹底

・改善に向けた取組

2 調査結果の概要

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《教科全体》

中2国語

年度	県平均正答率	目標値
R7	61.0 %	61.4 %
R6	62.2 %	63.5 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

-0.4

-1.3

※目標値・・・学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童生徒の割合

R7の県平均正答率は、目標値を0.4ポイント下回った。
しかし、R6と比べると、目標値との差が小さくなった。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《観点別》

中2国語

知識・技能

年度	県平均正答率	目標値
R 7	66.9 %	66.0 %
R 6	71.6 %	70.4 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

+0.9

+ 1.2

R7の県平均正答率は、目標値を0.9ポイント上回った。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《事項別》

中2国語

事項	年度	県平均正答率	目標値
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	R 7	68.2 %	67.5 %
	R 6	70.4 %	70.6 %
(2) 情報の扱い方に関する事項	R 7	52.1 %	50.0 %
	R 6	68.4 %	62.5 %
(3) 我が国の言語文化に関する事項	R 7	71.5 %	70.0 %
	R 6	89.1 %	85.0 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

+0.7

-0.2

+2.1

+5.9

+1.5

+4.1

R7の県平均正答率は、全ての事項で目標値を上回った。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《観点別》

中2国語

思考・判断・表現

年度	県平均正答率	目標値
R 7	57.0 %	58.3 %
R 6	55.9 %	58.1 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

-1.3

-2.2

R7の県平均正答率は、目標値を1.3ポイント下回った。
しかし、R6と比べると、目標値との差が小さくなった。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《領域別》

中2国語

領域	年度	県平均正答率	目標値
A 話すこと・ 聞くこと	R 7	72.7 %	68.3 %
	R 6	54.3 %	56.7 %
B 書くこと	R 7	49.0 %	53.3 %
	R 6	49.9 %	58.8 %
C 読むこと	R 7	57.1 %	58.3 %
	R 6	61.6 %	59.2 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

+4.4

-2.4

-4.3

-8.9

-1.2

+2.4

R7の県平均正答率は、「話すこと・聞くこと」で目標値を上回った。また、R6と比べると、「書くこと」で目標値との差が小さくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《教科全体》

中3国語

年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
R7	53 %	54.3 %
R6	55 %	58.1 %

※全国調査の教科全体の県平均正答率は、文部科学省から整数値で提供されています。

R7の県平均正答率は、R6に引き続き、全国平均正答率を下回った。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《観点別》

知識・技能

中3国語

年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
R 7	46.3 %	48.1 %
R 6	59.6 %	62.0 %

全国平均正答率との差
(県平均正答率－全国平均正答率)

－1.8

－2.4

R7の県平均正答率は、全国平均正答率を1.8ポイント下回った。
しかし、R6と比べると、全国平均正答率との差が小さくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《事項別》

中 3 国語

事項	年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	R 7	46.3 %	48.1 %
	R 6	56.0 %	59.2 %
(2) 情報の扱い方に関する事項	R 7	該当する設問なし	
	R 6	58.3 %	59.6 %
(3) 我が国の言語文化に関する事項	R 7	該当する設問なし	
	R 6	73.0 %	75.6 %

全国平均正答率
との差
(県平均正答率
－全国平均正答率)

－1.8

－3.2

－1.3

－2.6

R7の県平均正答率は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国平均正答率を下回った。しかし、R6と比べると、全国平均正答率との差が小さくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《観点別》

思考・判断・表現

中3国語

年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
R 7	53.7 %	55.3 %
R 6	51.5 %	55.4 %

全国平均正答率との差
(県平均正答率－全国平均正答率)

-1.6

-3.9

R7の県平均正答率は、全国平均正答率を1.6ポイント下回った。
しかし、R6と比べると、全国平均正答率との差が小さくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《領域別》
中3国語

領域	年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
A 話すこと・ 聞くこと	R 7	51.4 %	53.2 %
	R 6	54.5 %	58.8 %
B 書くこと	R 7	51.6 %	52.8 %
	R 6	60.5 %	65.3 %
C 読むこと	R 7	60.1 %	62.3 %
	R 6	44.6 %	47.9 %

全国平均正答率
との差
(県平均正答率
－全国平均正答率)

-1.8

-4.3

-1.2

-4.8

-2.2

-3.3

R7の県平均正答率は、全ての領域で全国平均正答率を下回った。しかし、R6と比べると、全ての領域で全国平均正答率との差が小さくなった。

第2学年では、令和6年度の調査結果と比べると、以下の点において、改善が見られた。

- 教科全体の県平均正答率
- 観点別の県平均正答率 「思考・判断・表現」
- 事項別の県平均正答率 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- 領域別の県平均正答率 「話すこと・聞くこと」「書くこと」

第3学年では、令和6年度の調査結果と比べると、以下の点において、改善が見られた。

- 教科全体の県平均正答率
- 観点別の県平均正答率 「知識・技能」「思考・判断・表現」
- 事項別の県平均正答率 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- 領域別の県平均正答率 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」

3 成果が見られた設問

- ◇読み手の立場に立って、文章を整えている。（中2）
- ◇自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。（中3）
- ◇文節の関係について理解している。（中2）
- ◇事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる。（中3）

4 課題が見られた設問

- ◆自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(中2)
- ◆読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。(中3)
- ◆表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(中2)
- ◆表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。
(中3)

5 指導改善のポイント

自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるようにするためには、次のような指導改善を行うことが大切です。

- レポートやリーフレットを書く言語活動を設定し、読み手に伝えたい自分の考えを明らかにした上で、根拠をどのように文章中に記述すると明確になるかを吟味する学習活動を設定する。例えば、根拠とする事実から、なぜ、その考えが導き出せるかが分かるように説明を書き、それらをペアやグループで確認し合う活動を行う。

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるようにするためには、次のような指導改善を行うことが大切です。

- 書くことの単元で、推敲する際、表記は正しいか、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順は適切かなどの視点を示して、文章を整えるよう指導する。
- 推敲する前と後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明する学習活動を設定する。その際、叙述の仕方などを直したことで、伝えようとすることが十分に書き表されているかなどを、読み手の立場に立って、個人やペアで確かめるよう指導する。

表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるようにするためには、次のような指導改善を行うことが大切です。

- 描写の仕方や比喻をはじめとした表現の技法などに着目し、書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりするような学習活動を設定する。例えば、その表現がある場合とない場合を比較する活動などを設定する。
- 表現の効果について自分の考えを書いたり発表したりする際には、自分の考えを支える根拠となる部分を文章中から挙げるよう指導する。

6 同一生徒の経年比較

6 同一生徒の経年比較

27

〈 県調査結果と全国調査結果との比較 〉

	小学校			中学校		
学年	第1学年～ 第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
県調査 (4月実施)	第4学年までの 学習における 「強み」「弱み」 の把握	国語 算数		第1学年までの 学習における 「強み」「弱み」 の把握	国語 数学 英語	
全国調査 (4月実施)		課題が解決したか、 確認と振り返り	国語 算数 (理科)		課題が解決したか、 確認と振り返り	国語 数学 (理科・英語)

() 内教科…3年に1回実施

各学校において、経年比較における分析も行ってみましょう。

6 同一生徒の経年比較

28

〈 R 7 全国調査結果と R 6 県調査結果との比較 〉

観点	事項及び領域	R 7 全国調査 対全国比※ 1	R 6 県調査 対全国比※ 2	R 7 - R 6
知識・技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	0.96	0.99	-0.03
	(2) 情報の扱い方に関する事項	該当する 設問なし	1.01	—
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	該当する 設問なし	1.00	—
思考・判断・表現	A 話すこと・聞くこと	0.97	0.99	-0.02
	B 書くこと	0.98	0.80	+0.18
	C 読むこと	0.96	0.97	-0.01

※ 1 全国調査対全国比 … 県平均正答率÷全国平均正答率

※ 2 県調査対全国比 … 県平均正答率÷調査に参加している児童生徒（各教科約10万人）の平均正答率

参考として、対全国比で比べると、「書くこと」で改善が見られた。

7 おわりに

まずは、以下の点において指導改善を図りましょう。

- ◆自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるようになる。
- ◆読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるようになる。
- ◆表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるようになる。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に役立つコンテンツ、指導と評価の一体化を図るためのコンテンツなど、今すぐ使えるコンテンツが満載です。

佐賀県
教育センター

サイト内検索

検索ワードを入力してください



各種研修



受講のための情報



受講者へのお願い

オンデマンド受講者専用ページ

駐車場の利用について

申込等各種手続

授業に役立つコンテンツ



授業に役立つ実践研究

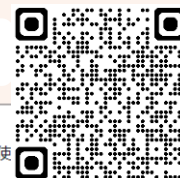


学習評価の進め方

SAGAせ〜る指導案

学習状況調査

「さがんば」(佐賀県学習問題)

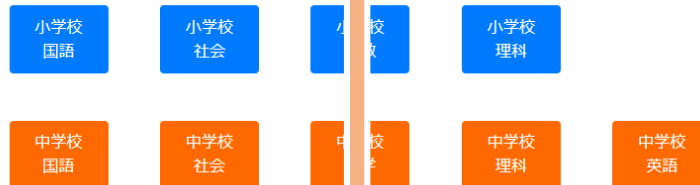


これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査を基に作成されたC B T問題です。
児童生徒が、学習eポータルにサインインして、MEXCBT（メクビット）を使い
上で学習することができます。

Ⅰ 教師用マニュアル (PowerPoint版 / PDF版)

Ⅱ 児童生徒用マニュアル (PowerPoint版 / PDF版)

Ⅲ 問題一覧 ※令和6年3月15日更新



目次

スライドショーのときに、ここをクリック
すると、目次にもどることができます。

児童生徒用マニュアル

1. 「さがんば」(佐賀県学習問題)
2. 学習eポータルにサインインしよう
3. 問題に答えよう①
4. 問題に答えよう②
5. 結果を確認しよう①
6. 結果を確認しよう②

※それぞれ使っている学習eポータルのマニュアルは、
文部科学省CBTシステムMEXCBT運営支援サイト
にありますので、参考してください。
→<https://support2.mext.go.jp/manual/>



「さがんば」(佐賀県学習問題)

児童生徒用マニュアル

※このマニュアルにのせている画像は、実証用学習eポータルを
参考に作成したイメージ画像です。

1. 「さがんば」(佐賀県学習問題)

児童生徒用マニュアル



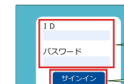
「さがんば」(佐賀県学習問題)って何ですか？



「さがんば」(佐賀県学習問題)とは、
授業や家庭で、学習eポータルを使い、オ
ンライン上で学習することができる佐賀県
が作成した問題です。
いろいろな問題に取り組んで、学習内容の理解を深めて
いきましょう。また、主体的に取り組んで、「学力」も
つけていきましょう。

2. 学習eポータルにサインインしよう

児童生徒用マニュアル



学習eポータルにアクセスして、ID
とパスワードを入力してください。
「サインイン」をクリックして、
ログインしてください。



「MEXCBTテスト」をクリック
してください。
※「サインインしたあとの画面」と
「MEXCBTテスト」の両方方は
学習eポータルによってちがいます。



これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査
問題を基に作成されたC B T問題です。
学習eポータルにサインインして、MEX
CBT（メクビット）を使い、オンライン
上で学習することができます。